

年末は第九へ。

誰もが知るベートーヴェン最後の交響曲は、
二世紀も歌い継がれる、クラシックの名曲。



★第一部ゲスト〈バンドネオン〉
小松亮太 Ryota Komatsu



〈指揮〉
山下一史 Kazufumi Yamashita



ソプラノ 半田美和子
Miwako Handa
©武蔵章



アルト 坂本 朱
Akemi Sakamoto
©武蔵章



テノール 西村 悟
Satoshi Nishimura
©Yoshinobu Fukaya(aura)



バリトン 堀内康雄
Yasuo Horiuchi
©Yoshinobu Fukaya(aura)

〈管弦楽〉広島交響楽団 〈合唱〉第九ひろしま2016合唱団

第九ひろしまは、日本三大・第九公演のひとつとして知られています。

第九ひろしま2016

12月18日(日) 午後3時開演(午後2時開場)

広島サンプラザホール (広島市西区商工センター3-1-1)

指定席:前売4,300円(税込)/当日4,800円(税込) 自由席:前売3,800円(税込)/当日4,500円(税込)

※4歳以上は有料です。3歳以下の入場はお断りいたします。※会場への入り口は西口(公園側)のみとさせていただきます。



広島家族。
RCC

[チケット]・エディオン広島本店・広島サンプラザ・アルパーク天満屋・福屋広島駅前店・中国新聞社読者広報部・セブンチケット・ローソンチケット(Lコード:62214)・チケットぴあ(Pコード:309-451)・RCCオンラインチケット

お問い合わせは▶RCC事業部第九事務局 ☎082-222-1133(平日午前9時30分~午後5時30分)

第九ひろしま

検索

主催/中国放送 中国新聞社 特別協賛/120 ぎんぎん 後援/広島県・広島市・福山市・東広島市・呉市・廿日市市・三次市・安芸高田市
広島県教育委員会・広島市教育委員会・広島県合唱連盟・ドイツ連邦共和国総領事館



フェイスブックで
最新情報を
チェックしよう!



演奏曲目

第一部

「リベルタンゴ」
「風の詩～THE世界遺産」
「夢幻鉄道」
「首の差で」
「オブリビオン」
(演奏順は未定)

ゲスト:小松亮太
(バンドネオン)
指揮:山下一史
管弦楽:広島交響楽団

第二部

ベートーヴェン 交響曲第9番 二短調 Op.125 「合唱」
指揮:山下一史
ソリスト:ソプラノ/半田美和子 アルト/坂本朱
テノール/西村悟 バリトン/堀内康雄
合唱:第九ひろしま2016合唱団

指揮/山下一史 Kazufumi Yamashita



桐朋学園大学卒業後、ベルリン芸術大学に留学。1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。カラヤンのアシスタントを務め、ベルリン・フィル演奏会で急病のカラヤンの代役をシーズ姿で指揮し話題となる。ヘルシンボリ響首席客演指揮者、九響常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス常任指揮者、仙台フィル正指揮者などを歴任。2011年2月シューマン:歌劇「ゲノフェーファ」日本舞台初演や、2013年1月水野修孝:歌劇「天守物語」を行うなど、着実な成果を上げている指揮者として注目を浴びている。2016年4月からはニューフィルハーモニーオーケストラ千葉音楽監督を務める。

バンドネオン/小松亮太 Ryota Komatsu



1973年東京生まれ。98年、ソニーミュージックよりCDデビューを果たして以来、国内はもとより、カーネギーホールやタンゴの本場ブエノスアイレスなどで、タンゴ界における記念碑的な公演を実現している。

アルバムもすでに20枚以上を制作。「ライブ・イン・TOKYO～2002」がアルゼンチンで高く評価され、03年にはアルゼンチン音楽家組合(AADI)、ブエノスアイレス市音楽文化管理局から表彰された(授与者はレオポルド・フェデリコとカルロス・ガルシア)。08年にはアストル・ピアソラの幻のオラトリオ「若き民衆」を東京オペラシティで日本初演。13年にはピアノの「ブエノスアイレスのマリア」をピアソラ元夫人の歌手アメリカ・バルタールと共演し、ライブアルバムをリリース。タンゴ界にとどまらず、ソニーのコンピレーション・アルバム「image」と、同ライブツアー「live image」には初回から参加。

作曲活動も旺盛で、フジテレビ系アニメ「モノノ怪」OP曲「下弦の月」、TBS系列「THE世界遺産」OP曲「風の詩」、映画「グスコブドリの伝記」(ワーナーブラザーズ配給・手塚プロダクション制作)、「体脂肪計タニタの社員食堂」(角川映画)、NHKドラマ「ご縁ハンター」のサウンドトラックなど多数を手掛けている。

これまでのタンゴ界以外での共演者は、ミッシェル・ルグラン、パホフォンド、イジョク(Juck Lee)、ジェイク・シマブクロ、ブドスキー・カルテット、ミルバ、上妻宏光、石井一孝、NHK交響楽団、小曾根真、織田哲郎、佐渡裕、葉加瀬太郎、宮沢和史など。タンゴ界ではビクトル・ラバジェン、ラウル・ラビエ、マリア・グラニャ、オスバルド・ベリンジェリ、ファン・カルロス・コーベス、藤沢嵐子など。

15年にリリースした大貫妙子との共同名義アルバム「Tint」は、第57回輝く!日本レコード大賞「優秀アルバム賞」を受賞した。

ソプラノ/半田美和子 Miwako Handa



桐朋学園大学、同大研究科修了。

二期会オペラスタジオ修了時に最優秀賞及び川崎静子賞、第4回藤沢オペラコンクール第1位及び福永賞受賞。その後ベルリンにて研鑽を積む。

「フィガロの結婚」スザンナ役、『ファルスタフ』ナンネッタ役の他、細川俊夫「班女」花子役を日本初演後、イタリアMITOフェスティヴァルにて初演、賞賛を浴びる。同じく細川作品「リアの物語」リーガン役でも出演、深い内面性を見事に表現する。

又、モーツァルト「レクイエム」「真夏の夜の夢」ラヴェル「シェラザード」マーラー「交響曲4番」等、コンサートソリストとしても幅広く活躍。ドイツリートやフランス、アメリカ歌曲なども含む多彩なコンサートレパートリーを誇り、精緻な技術と豊かな音楽性が高く評価されている日本を代表するソプラノ。2012年にはファーストアルバムKhôra-Niemandsliedをリリース。音楽雑誌等で特選盤に選ばれる。桐朋学園大学非常勤講師。

アルト/坂本朱 Akemi Sakamoto



東京藝術大学及び同大学院オペラ科修士課程を経て、ミラノのヴェルディ音楽院にて学ぶ。

トーティ・ダル・モンテ及びベッリーニ国際音楽コンクールの優勝。

オペラでは「ナブッコ」「セヴィリアの理髪師」「カルメン」「建・TAKERU」、三枝成彰「忠臣蔵」「KAMIKAZE-神風」等に出演。

また、テミルカーノフ指揮サントペテルブルク・フィル「アレクサンドル・ネフスキー」、ホーネック指揮読売日響「マーラー:交響曲第3番」「ヤナーチェク:グラゴール・ミサ」、アシュケナージ指揮EUユースオーケストラ「マーラー:交響曲第2番」、ロジェストヴェンスキー指揮 読売日響「長崎」《日本初演》、マゼール指揮「第九」、2014年1月にはテミルカーノフ指揮サントペテルブルク・フィルとマーラーの「復活」で再び共演し、豊潤で深みのある声による歌唱は自在な表現力と圧倒的な存在感を示し好評を博した。

CDはギター・福田進一氏と武満ソングス全21曲を収録した「Liberté」をリリース。

イタリアと日本を拠点に、日本を代表する実力派メゾ・ソプラノとして活躍。

テノール/西村悟 Satoshi Nishimura



日本大学芸術学部音楽学科卒業、東京芸術大学大学院オペラ科修了。声楽を丹羽勝海、川上洋司、Yoko Takedaの各氏に師事。第36回イタリア声楽コンクール・ミラノ部門にて大賞(1位)を受賞。ポーロニャ国立音楽院へ留学。2010年、文化庁新進芸術家海外派遣員としてヴェローナに再渡伊。2011年、第17回リッカルド・ザンドナーイ国際声楽コンクールにて第2位、並びに審査委員長特別賞を受賞。第80回日本音楽コンクールにて第1位、並びに聴衆賞を受賞。オーケストラとの共演では、大野和士指揮水戸室内管弦楽団とプリテン「ノクターン」、山田和樹指揮スイス・ロマン管弦楽団とメンデルスゾーン「交響曲「讃歌」、佐渡裕指揮ケルン放送交響楽団と「第九」、インキネン指揮日本フィルとのマーラー「大地の歌」を共演。オペラでは、新国立劇場「夜叉ヶ池」、藤原歌劇団「ラ・トラヴィアータ」「蝶々夫人」「仮面舞踏会」に出演。平成25年度五島記念文化賞新人賞受賞。第23回出光音楽賞受賞。藤原歌劇団団員。

バリトン/堀内康雄 Yasuo Horiuchi



慶応大学法学部卒。第21回イタリア声楽コンクールで第1位・ミラノ大賞を受賞し、91年ミラノ・ヴェルディ音楽院へ留学。第39回トゥールーズ国際声楽コンクールで優勝し、94年ヴェネツィア・フェニーチェ劇場の「ラ・ボエーム」でデビュー。以後、同劇場「リゴレット」、ローマ歌劇場「マクベス」「リゴレット」などイタリアを中心に著名歌劇場で活躍。日本には、97年藤原歌劇団の「椿姫」でデビュー。以後同団「マクベス」「ボエーム」「アドリアーナ・ナルクヴール」「リゴレット」「ジョコンダ」などや、新国立劇場「アイダ」「仮面舞踏会」「ドン・カルロ」、びわ湖ホール「アッティラ」「シチリアの夕べの祈り」等のオペラや各種コンサートで活躍。艶やかな美声と集中力のある演技で、高い評価を得ている日本を代表するバリトン歌手。第5回江副育英会オペラ奨学生。第2回五島記念文化財団オペラ新人賞、第25回ジロー・オペラ賞受賞。藤原歌劇団団員。武蔵野音楽大学教授。

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra



国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中国地方唯一の常設プロオーケストラ広響は、1998年に日本を代表する指揮者である秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。海外公演として、ウィーン、プラハ、フランス(ルーアン、ル・アーブル)、ロシア(サントペテルブルク)、韓国(ソウル、プサン、テグ)などで公演し好評を博す。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>